

2017 年度 活動報告

公益社団法人 日本山岳会北海道支部

例年道の生活環境部生物多様性保全課の委託を受けて実施している大雪山高山植物盗掘防止パトロールを今年度も 6 月 1 日～10 月 10 日に実施した。会員、会友から 32 名が監視員に登録して、支部の定例山行や個人山行等に合わせて国立公園地域の夏道ルートでパトロール活動をした。実績は 28 名で延べ 133 日のパトロールを行った(昨年度 24 名で 104 日)。盗掘痕、踏み付けの報告はなかったが、登山道の荒廃や道標の不備で踏み跡があちこちでできている箇所があったとの報告があった(旭岳の 1～5 合目、裾合平、お鉢巡りコース、永山岳～比布岳)。エゾシカの見撃は 2 件でいずれも高山帯ではなくアプローチのローウェイ下や林道わきだった。セイヨウマルハナバチの見撃はなかった。

7 月 9 日の上川総合振興局による赤岳～小泉岳の合同パトロールには支部会員 3 名が参加した。

道内山岳団体が持ち回りで実施している美瑛富士避難小屋の携帯トイレブースの清掃・点検活動については当支部は 9 月 17 日(日)～18 日(月)に 1 泊 2 日で予定していたが、台風の接近による悪天候で中止になった。